

3.11を忘れない

INORINO KIZUNA

祈りの絆

第33号

2015年8月19日 全国発送

日本バプテスト連盟東日本大震災被災地支援委員会 <http://www.bapren.jp>

【震災募金口座】 振替 00140-9-180881
宗教学者日本バプテスト連盟総務部

<3.11を忘れないチャリティコンサート>

西南学院大学ボランティアセンター 山口由美子 (野方教会)

西南学院大学では、東日本大震災ボランティアとして、4年間で52チーム438名の学生・教職員を東北へ派遣し、その中でも304名が日本バプテスト連盟の被災地支援で活動させていただきました。東北の皆様が継続されている活動に、毎年参加させていただき、心から感謝しています。

震災ボランティア後に、福岡で継続して支援したいと立ち上げた学生ボランティア団体『いと』の学生たちが街頭募金や情報発信を続けている活動をご覧になった卒業生の方々からの提案で実現した復興支援チャリティコンサートは、今年も6月27日に第3回を開催しました。今年度は、卒業生の合唱団など5団体127名の皆様にご出演いただき、『いと』をはじめ、スタッフ45名の合計172名が携わり、約400名の方々にご来場くださいました。ロビーでは、仮設住宅で作られた作品の委託販売や学生たちの企画

イベントなどを実施しました。このコンサートは、在校生と卒業生が一体となって東北復興支援を行う西南学院ならではの支援活動です。多くの西南学院関係者が、共に東北の皆様へ想いを馳せた一日となりました。

私たちは、「一人ひとりの『点』を打って、次の誰かにつなげよう!」と呼びかけています。一人ひとり小さな働きでも、「点」が集まると「線」になり、「線」が「面」になって広がります。2015年度も74名が東北で活動させていただきます。これからも復興支援活動が広がり、つながり、つむいでいくことができますように。いつも東北のことを覚えて、祈っています。



<原発課題班コラム>

野中宏樹 (鳥栖教会)

先日、妻の父がブラジルに住む弟家族に日本の海産物を送りました。遠く離れた地で暮らす叔父たちにとって「懐かしい日本の味と香り」が詰め込まれた、心こもった荷物でした。けれども、この荷物は叔父家族に届きませんでした。理由はブラジルの検疫で放射能が検出されたからです。今連盟にある放射能検出器で放射能測定をしていただいている途中ですが、この海産物は日本での検査には合格したもので、国内では普通に流通している商品です。今、私は危機感を抱いています。この出来事からも明らかのように、私たちは4年半近くが過ぎて、もうあの事故の事を忘れ始めているのではないのでしょうか。東京電力福島第一原子力発電所の事故は今も終息していません。放射能はもれ続けています。だからこそ日本政府は2011年3月11日に発令した「原子力緊急事態宣言」を今なお解除しないのです。日本政府は避難指示準備解除区域の住民に対しての帰村準備を始めていますが、一方で緊急事態宣言を取り下げないのは、ICPPの勧告に従った国際基準であり、日本の法令で定められた公衆のヒバク許容限度1ミリシーベルトという数字を守ることが出来ないため、これを20ミリシーベルトに引き上げたままにしておきたいからです。決して事故が終息し、放射能汚染がなくなって安全になったわけではありません。今なお「緊急事態」なのです。

それにも関わらず、8月12日、九州電力は鹿児島にある川内原子力発電所1号機の起動ボタンを押しました。あの「3・11」に起きた東京電力福島第一原子力発電所事故の後、設置された原子力規制委員会の審査に1番始めに「合格」した原発です。私は「歴史的暴挙」だと思います。福島から2011年夏に子ども2人を連れて佐賀に引っ越して来た友人が言いました。「あれだけの事故を起こしながら、まるでよその国で起きた事のように再稼働へと進む。人の気持ちがあると思えない」と。あの事故によって生活や人生を大きく変えられてしまった人々は、福島県内のみならず、東日本全域にわたっています。一人一人が今日、何が最善なのか、何が出来るのか、そう問いながら懸命に4年半を歩んで来られたと思います。けれども、この出来事は、それらの人々の懸命な営みを一瞬にして拒絶する、無視する、なかった事にするに等しい事だと私は思います。「世界の規正基準」「経済が立ちゆかなくなる」「電気が必要」「安価な電気」…全部嘘です。私たちは Fukushima をなかったことにはできませんし、してはならないのです。この原点を忘れてはならないと思います。

<現地支援委員会より5~8月支援活動報告>

現地支援委員長 金丸 真 (仙台長命ヶ丘教会)

- 5/11(月) 第75回宮前仮設訪問 (長命ヶ丘教会)
- 5/15(金) 第45回野田村仮設訪問 (鮫教会、八戸教会、三沢教会、札幌教会、札幌新生教会、帯広教会)
- 5/16(土) 牡鹿半島支援 (仙台教会、大富教会、南光台教会、長命ヶ丘教会、恵泉教会)
- 5/23(土) 緑ヶ丘仮設訪問 (郡山教会)
- 6/7(日)~13(日) ハワイ・ワイアライバプテスト教会より13名のボランティア受け入れ (大富教会)
- 6/12(金) 小鍬第4仮設、第7仮設訪問 (盛岡教会、郡山教会、宮崎丸山町教会、山形教会、姪浜教会、テキサス日本語教会)
- 6/13(土) 安渡カフェ (盛岡教会、山形教会、姪浜教会、浦和教会)
- 6/19(金) 第46回野田村仮設訪問 (鮫教会、苫小牧教会、八戸聖書教会)
- 6/20(土) 緑ヶ丘仮設訪問 (郡山教会、大宮教会) 牡鹿半島支援 (仙台教会、大富教会、南光台教会、長命ヶ丘教会)
- 6/22(木) 第76回宮前仮設訪問 (長命ヶ丘教会、百合丘教会)
- 6/27(土) 亘理いちご農家支援 (長命ヶ丘教会、宮城学院高校)
- 7/2(木)~5(日) ハワイ、パールシティ第一バプテスト教会より11名のボランティア受け入れ (大富教会)
- 7/17(金) 第47回野田村仮設訪問 (鮫教会、青森教会、三沢教会、旭川東光教会)
- 7/18(土) 緑ヶ丘仮設訪問 (郡山教会、恵泉教会、あいあいプロジェクト) 牡鹿半島支援 (仙台教会、大富教会、南光台教会)
- 7/28(火) 第77回宮前仮設訪問 (長命ヶ丘教会、東北学院中高)
- 8/3(月) 牡鹿半島、亘理支援 (長命ヶ丘教会、関西学院高)
- 8/4(火) 安渡カフェ (盛岡教会)、小鍬第4仮設 (東京女子大コンサート)
- 8/4(火)~5(水) 志津川支援 (長命ヶ丘教会、宮城学院中高)
- 8/10(火) 第78回宮前仮設訪問 (長命ヶ丘教会、大井教会)

震災募金にご協力ください 2015年度募金目標額：1400万円 (国内・国外)

2015年7月までの実績 236万円

<2015年6月、7月募金者 (受付順、敬称略) > 45名(口)の方々から献げられました。心から感謝申し上げます。

鹿児島、高松常磐町、大村古賀島、高松常磐町、古賀、府中、京都、相浦光、筑波、大阪ブロック女性大会、浅見祐三、福岡、恵、那珂川、佐世保、東大阪、中野、調布、ふじみ野、久保祐子、品川、古賀、大分、鹿児島、北九州キリスト教会&西野ギター教室、祈りのプロジェクト今村幸文、関西黎明、青少年専門委員会 隣旅スタッフTシャツ、高須、調布、中野、市川八幡、大村古賀島、日立、姫路城西、古賀、鹿児島、相浦光、丸亀城東町、筑波、大阪、バプテスト神学校高橋彰 宣研ブックレット代、大井、目白ヶ丘、伊集院